

1 青森県小学校長会

<p>第4次食育推進計画への位置付け</p>	<p>基本方向1-2、配慮すべき事項2</p>
<p>活動内容・参加者等</p>	<p>青森県小学校長会として実施している事業はないが、各地区(県内9地区)及び各小学校において次のような取組を行っている。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 学校における「食育に関する全体計画」を作成し、実施・改善に努めている。 2 各教科、総合的な学習の時間、特別活動及び給食指導の時間等、教育活動全体を通して食育の推進に努めている。 3 食育に関する専門的な知識をもつ栄養教諭、学校栄養職員、調理員、生産者等をゲストティーチャーとして授業を実施し、食の指導に生かしている。 4 学校保健委員会において食に関する指導内容を扱い、教職員、保護者、地域の方々と共に、食について話し合う機会を設けている。 <p>※ 例年は食育イベントを開催し、栄養教諭や学校栄養職員が給食の紹介や食に関するクイズやゲームを実施している地区もあるが、今年度はコロナの影響があり、実施するにあたっては感染防止対策をしながら実施方法を工夫している。</p>
<p>取組の具体的手法や特徴的なこと (他団体との連携など)</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 全小学校において、栄養教諭を活用した授業を実施している地区がある。 2 PTAが中心となり、栄養教諭や学校栄養職員をゲストティーチャーに迎え、保護者向けの研修会を実施している地区がある。(講話、給食試食会、調理実習等) 3 参観日を活用して、栄養教諭、学校栄養職員をゲストティーチャーに迎え、食に関する講演を実施した地区がある。 4 多くの学校で学校保健委員会や授業、クラブ活動等で学校栄養職員を効果的に活用している地区がある。

2 青森県中学校長会

第4次食育推進計画 への位置付け	活動内容 1・2・4 基本方向 1-2
	活動内容 3 基本方向 1-1、基本方向 3-2
活動内容・参加者等	<ol style="list-style-type: none"> 1 「家庭科」「保健体育」の授業で、食と健康等食育に関する内容を展開し、学習のねらいを達成できるようにしている。 2 生徒会の保健委員会の活動を効果的に展開し、保健委員だけでなく、全校集会等を活用し、全校生徒に健康と食の関係を理解させている。 3 学校と家庭が連携し、家庭において日本の伝統的な食文化や郷土食の良さを再認識できるよう努めている。 4 学校給食等をとおして、食の大切さを学ばせている。（学校給食センターからの「月ごとのメニュー」「給食便り」「お知らせ」の活用など）

3 青森県高等学校長協会

取組 ①	高等学校の学習活動における食育の取組（各教科等における取組）
第4次食育推進計画への位置付け	基本方向1-2、基本方向2-2、基本方向3-2、 基本方向3-3
活動内容・参加者等	<p>1 共通教科「家庭基礎」における「衣食住の生活の自立と設計」「食生活と健康」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ライフステージに応じた栄養の特徴や食品の栄養的特質、健康や環境に配慮した食生活について理解し、自己や家族の食生活の計画・管理に必要な技能を身に付ける。 ・おいしさの構成要素や食品の調理上の性質、食品衛生について理解し、目的に応じた調理に必要な技能を身に付ける。 ・食の安全や食品の調理上の性質、食文化の継承を考慮した献立作成や調理計画、健康や環境に配慮した食生活について考察し、自己や家族の食事を工夫する。 <p>2 共通教科「家庭総合」における「衣食住の生活と科学の文化」「食生活の科学と文化」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食生活を取り巻く課題、食の安全と衛生、日本と世界の食文化など、食と人との関わりについて理解する。 ・ライフステージの特徴や課題に着目し、栄養の特徴、食品の栄養的特質、健康や環境に配慮した食生活について理解するとともに、自己と家族の食生活の計画・管理に必要な技能を身に付ける。 ・おいしさの構成要素や食品の調理上の性質、食品衛生について科学的に理解し、目的に応じた調理に必要な技能を身に付ける。 <p>3 保健体育(保健)(健康を支える環境づくり)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食品と健康(食品の安全性の確保、食品衛生活動) ・健康に関する環境づくりと社会参加(ヘルスプロモーション、適切な健康情報の活用)
取組 ②	高等学校の学習活動における食育の取組(第32回全国産業教育フェア青森大会開催)
第4次食育推進計画への位置付け	基本方向1-2
期 日	令和4年10月15日～16日
場 所	アピオあおもり(青森市)
活動内容・参加者等	1 全国高校生クッキングコンテストを3年ぶりに通常開催。5県6チームで決勝を行った。百石高校Bが「文部科学大臣賞」を受賞。百石高校教員及び食物調理科生徒が準備・運営委員等をつとめ、大成功をおさめた。

	2 大会弁当実行委員会が、県内の高校生が応募した約 130 作品のおかず案から「丸高高橋蒲鉾店」とともに2日分（2種類）の弁当を完成させた。
取組 ③	各学校における特色ある取組事例
第4次食育推進計画への位置付け	基本方向1-2
活動内容・参加者等	<p>1 百石高校食物調理科(専門学科)</p> <p>(1) 高校生レストラン（7月2日と11月5日の2回実施総菜販売） 令和4年度は、「高校生クッキングコンテスト」の業務で多忙であったため、2回に限定して実施。</p> <p>(2) おやこ食堂へ、副菜の提供および店内でのボランティア活動。（3年生有志による）</p> <p>(3) おいらせ町内の小学校へ、2年生による出前食育教室の実施（1～2月、計3回）</p> <p>(4) 食に関するポスターを作成、食育月間に校内掲示 6月テーマ「高校生に知って欲しい食に関する豆知識」 11月テーマ「機能性成分について」</p> <p>2 弘前実業高校家庭科学科・服飾デザイン科（専門学科）</p> <p>【科目名】「介護基礎と福祉」「課題研究（介護）」</p> <p>(1) 栄養学と咀嚼能力を踏まえた高齢者の食について（調理法の工夫）の学習</p> <p>(2) 睡眠と食生活、病気と食習慣、健康寿命を延ばす食生活に関する学習</p> <p>(3) 味噌汁や発酵食品の効能に関する学習</p> <p>【科目名】「フードデザイン」</p> <p>(1) 食事の意義と役割の理解、健康な食生活に関する学習</p> <p>(2) 実習を踏まえた食品の特徴、調理上の性質、成分変化等に関する学習</p> <p>(3) 食育基本法を踏まえた食事の重要性についての理解</p> <p>(4) 外部講師を招いての「食品ロス」に関する講話</p> <p>【科目名】「食文化」</p> <p>(1) 伝統的な行事に伴う料理や食材等に関する由来や意味の理解</p> <p>(2) 行事食や郷土料理に関する学習と調理技術の習得</p> <p>(3) 食文化の伝承の重要性や新しい食文化の創造に関する学習</p> <p>3 青森高校（普通科）</p> <p>【科目名】「家庭基礎」:学校家庭クラブ活動</p> <p>(1) 本校生徒の課題は「生活スキル」であると考え、食育</p>

	<p>に6年前から取り組む。</p> <p>(2) 学校家庭クラブ活動「青高自炊塾」を、ホームプロジェクトと関連づけ、食に関心を持たせる。</p> <p>(3) 青森県農林水産部食の安全推進課主催の「高校生のための自炊塾」のモデルになる。</p> <p>(4) 本校独自の「青高自炊塾レシピブック」に、PTA研修委員会と協力し将来に備える準備中であり、来年度、「青高自炊塾」を地区協議会の研修委員会で紹介の予定。</p> <p>(5) 青森市主催の「環境フェア」に青高自炊塾の「食品ロス」をなくすレシピ等の展示。</p> <p>(6) 青森県農林水産部食の安全推進課作成の「広めよう！自炊力」に「青高自炊塾」の紹介掲載予定。</p>
--	--

4 青森県特別支援学校校長会

<p>第4次食育推進計画への位置付け</p>	<p>基本方向1-1、基本方向1-2、基本方向3-1、基本方向3-2、基本方向3-3、配慮すべき事項2</p>	
<p>活動内容・参加者等</p>	<p>本校長会としての事業は実施していませんが、各校の学校運営において「食育」に関する指導を位置づけて継続的に取り組みを進めています。</p> <p>以下、各校の幼児児童生徒の障害等の状況に応じた主な取り組みを集約し、報告いたします。</p>	
<p>取組の具体的手法や特徴的なこと (他団体との連携など)</p>	<p>授業について</p>	<p>【幼児児童生徒を対象とした栄養士や教員による授業等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校菜園での野菜の栽培、収穫、調理 ・食事マナーについての学習 ・賞味、消費期限、食材の選び方、買い物→調理→食する学習、SDGs や日本の食料自給率、フードロス問題や地産地消についての学習 ・栄養バランスの良い食事の摂取や偏食に対する指導 ・給食を食べるまで（配送から配膳まで）の過程についての学習 ・SDGsに関連させた食育についての学習 ・学部集会にて、食についてのお話（食材クイズ等） ・バイキング給食を取り上げ、バランスのよい食事を取る意識を育てるための三大栄養素についての指導 ・りんご調べ学習おける、栄養や品種、りんごを使った料理についての指導 ・噛むことの大切さについて ・健康や病気予防の観点から「好き嫌い」「食べる量」「体に良い食べ物」について、絵本等を活用した授業 ・日本の伝統的な食事、地域の食文化や地域の産物の知識について ・校内の「栄養黑板」への掲示並びに「栄養黑板」を使った食材の学習 ・栄養士や厨房の方への感謝メッセージ作成 ・校外学習前にフードモデルを使用しての事前指導 ・給食委員会活動（マナー等のポスター作成、掲示、献立に関する放送） ・給食センター職員（栄養士）による学部毎の食育に関する授業の実施 ・食品の選び方について（食品添加物、賞味期限、消費期限、保存方法など） ・SDGsの観点からフードロスについての調査、実験 ・生活習慣病予防の観点から、菓子類やジュース類の糖分量の学習 <p>（学校給食全般、手の洗い方、新しい生活習慣に関する食に関わるマナー等）</p>

各 研 修 会 に つ い て	<p>【保護者対象】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外部講師を招いての食育に関するPTA研修会 ・新小1保護者対象の給食試食会 ・学校HPへの食事に関する新聞（モリモリ通信）、献立表の掲示 <p>【教職員対象】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外部講師を招いての摂食指導に関する校内研修会 ・初任者校内研修における食育講話 ・教職員対象の嘔吐物処理に関する研修会 ・形態食学習会 ・隣接する療育センターでの試食会実施 ・新任者研修における、アレルギーのある児童生徒への対応について
イ ベ ン ト 的 な も の	<ul style="list-style-type: none"> ・非常時用備蓄食品の家庭への提供及び体験給食 ・外注弁当（ペースト食）を購入しての摂食指導 ・リクエスト給食、行事食、ふるさと産品給食、全国学校給食週間の全国・外国の郷土料理の提供 ・バイキング給食の実施 ・テーブルマナー講習会 ・地場産物を活用した給食や地場産物に関するクイズ、展示。 ・手作り教材を使つての野菜収穫体験 ・小学部児童による「わくわく朝会」におけるランチクイズ。 ・リンゴの受粉～絵付け～収穫（「リンゴ生産活動」） ・県学校給食会主催の学校給食レシピコンテストへの参加及び上記のコンテストで受賞した献立による給食
そ の 他	<ul style="list-style-type: none"> ・放送委員会による、給食センターからの情報提供（給食のメニューや食材に関する一口メモの放送） ・配膳室前壁面への旬の食材や食品、給食センターが実施した給食残量調査の結果等についての情報掲示 ・青森県給食レシピコンテスト等や県から送られた各データの教員への周知 ・保健だよりによるバランスのとれた食事や栄養素、一日三食食べることの大切さ等の情報提供 ・食育に関する情報提供（[APPLE web]ラジオでの献立紹介） ・ふるさと産品給食についての紹介（教育用ディスプレイを活用したスライドショーの掲載） ・保健委員会が作成したポスター掲示 ・給食時間の「盛り付け方」と「食べ方」でできる減塩指導 ・給食献立表に食材に関する情報を記載（※弘一養から情報の情報提供による）

5 青森県学校保健会

事業名 ①	健やか青森っ子プラン「健やか青森っ子生活習慣病防止対策」の実施
第4次食育推進計画への位置付け	基本方向1-2
期 日	各地区学校保健会において実施
場 所	各地区学校保健会において実施
活動内容・参加者等	県教育委員会、郡市学校保健会及び学校保健関係団体等と連携し、幼児、児童生徒の心身の健康の保持増進と健康課題を解決するため、健康教育としての食育等を推進。
事業名 ②	青森県学校保健・安全・給食研究大会
第4次食育推進計画への位置付け	基本方向1-2
期 日	令和4年10月31日（※感染状況を考慮し紙面開催）
活動内容・参加者等	栄養教諭による食に関する教育取組発表（2名）
取組の具体的手法や特徴的なこと （他団体との連携など）	これまで同様、健康教育の中で総合的に取り組むとともに、学校保健関係団体が行う食育に関して積極的に支援する。

6 公益財団法人 青森県学校給食会

第4次食育推進計画への位置付け	基本方向1-2																								
活動内容・参加者等	<p>1 学校給食に関する食育活動の一環として、フードモデル（農水産物36種類、教材セット）を指導教材として作成し、学校、食育関係団体等に貸出を行っている。</p> <table border="1" data-bbox="539 477 1425 600"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>貸与施設数</th> <th>助成対象事業者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>県産品フードモデルの貸出</td> <td>7ヶ所</td> <td>五所川原市立学校給食センター等</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" data-bbox="539 645 1425 768"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>貸与施設数</th> <th>助成対象事業者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>フードモデル（教材セット）の貸出</td> <td>15ヶ所</td> <td>八戸市立学校西地区給食センター等</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">令和4年12月末時点</p> <p>2 青森県PTA連合会と連携して、県内の郡市連合PTA及び単位PTA活動の「食育推進事業」に対し、経費の一部を助成する事業を行っている。</p> <table border="1" data-bbox="539 1003 1425 1126"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>助成金額</th> <th>助成対象事業者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>PTA食育活動支援事業</td> <td>56,719円</td> <td>沖館小学校教育振興会等2団体 (参加人員 40名)</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">令和4年12月末時点</p> <p>3 地場産品を活用した食育推進及び学校給食に対する児童生徒の関心を高めるため、青森県産の食材を使った、家庭でも簡単にでき、学校給食でも提供できる、児童生徒のアイデアを活かした青森県学校給食レシピコンテストを青森県教育委員会等と共催で実施し、食育推進の支援を行った。</p> <table border="1" data-bbox="539 1541 1441 1765"> <thead> <tr> <th colspan="2">令和4年度実施状況</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>応募数</td> <td>626点（26校） (小学校136点、中学校483点、特別支援学校7点)</td> </tr> <tr> <td>表彰数</td> <td>最優秀賞 小学校の部・中学校の部・特別支援学校の部 各1点 優秀賞 小学校の部・特別支援学校の部 各2点、中学校の部 4点</td> </tr> </tbody> </table>	事業名	貸与施設数	助成対象事業者	県産品フードモデルの貸出	7ヶ所	五所川原市立学校給食センター等	事業名	貸与施設数	助成対象事業者	フードモデル（教材セット）の貸出	15ヶ所	八戸市立学校西地区給食センター等	事業名	助成金額	助成対象事業者	PTA食育活動支援事業	56,719円	沖館小学校教育振興会等2団体 (参加人員 40名)	令和4年度実施状況		応募数	626点（26校） (小学校136点、中学校483点、特別支援学校7点)	表彰数	最優秀賞 小学校の部・中学校の部・特別支援学校の部 各1点 優秀賞 小学校の部・特別支援学校の部 各2点、中学校の部 4点
事業名	貸与施設数	助成対象事業者																							
県産品フードモデルの貸出	7ヶ所	五所川原市立学校給食センター等																							
事業名	貸与施設数	助成対象事業者																							
フードモデル（教材セット）の貸出	15ヶ所	八戸市立学校西地区給食センター等																							
事業名	助成金額	助成対象事業者																							
PTA食育活動支援事業	56,719円	沖館小学校教育振興会等2団体 (参加人員 40名)																							
令和4年度実施状況																									
応募数	626点（26校） (小学校136点、中学校483点、特別支援学校7点)																								
表彰数	最優秀賞 小学校の部・中学校の部・特別支援学校の部 各1点 優秀賞 小学校の部・特別支援学校の部 各2点、中学校の部 4点																								
取組の具体的な手法や特徴的なこと (他団体との連携など)	青森県学校給食センター連絡協議会、青森県学校栄養士協議会及び青森県PTA連合会との連携を図り、食育の普及啓発を効果的に行うとともに、生産者団体等の協力を得て、地産地消の商品開発に努めている。																								

7 青森県学校給食センター連絡協議会

第4次食育推進計画への位置付け	基本方向1-2
活動内容・参加者等	学校給食センターの運営を円滑に推進するために、食育及び食品ロス削減等に関する研修会等を開催し、食育推進事業に取り組んだ。
取組の具体的手法や特徴的なこと (他団体との連携など)	学校給食関係団体と連携して、食育推進事業を支援していきたい。

8 青森県養護教諭会

<p>第4次食育推進計画 への位置付</p>	<p>基本方向 1 - 2</p>
<p>活動内容・参加者等</p>	<p>○会員各自が、勤務校において、家庭・地域・関係機関と連携を図りながら、食育に関する内容に取り組んでいる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校栄養職員や栄養教諭と連携し、発達段階に応じた学級・学年における「食」に関する指導の計画・実施。 ・学校保健委員会等で、「食」をテーマに取り上げ、健康な体づくりについて家庭や地域と考える場の設定と実施。 ・食物アレルギーについて、職員を対象とした研修の実施。 ・参観日やPTA委員会等での「食」に関する講話や給食試食会、調理実習等の実施。
<p>取組の具体的手法や特徴的なこと (他団体との連携など)</p>	<p>学校栄養職員が配置されていない学校に勤務する会員が多く、校務分掌の中でも「食育」や「給食」に携わることが多い。そのため、養護教諭が自校の実態から、多岐にわたる健康課題を「食」と関連づけながら関係職員・関係機関と連携し、実態改善に向けた取り組みを行うことができる。</p> <p>ただ、昨年度に続き、今年度も新型コロナウイルス感染症の影響を受け、例年より各校での活動は縮小あるいは削減されている。</p>

9 青森県学校栄養士協議会

事業名 ①	ふるさと産品給食の日
第4次食育推進計画への位置付	基本方向1-2、基本方向3-2、基本方向3-3、配慮すべき事項2
期 日	6月、11月
場 所	各施設
活動内容・参加者等	地域や県産の食材を使用した学校給食の献立を作成し、給食だよりや校内放送等で県産品や地域の産物を紹介し、児童・生徒や保護者に対して地産地消の啓発を図る。
事業名 ②	生活習慣病予防対策を含めた食に関する指導
第4次食育推進計画への位置付	基本方向1-2、基本方向2-1、配慮すべき事項1
期 日	通年
場 所	各施設
活動内容・参加者等	各施設ごとに対象となる児童・生徒に対して生活習慣病予防のためのテーマを設け、教科と関連づけた指導(家庭科での減塩みそ汁、保健体育での生活習慣病予防)をICTを活用して行った。
取組の具体的な手法や特徴的なこと (他団体との連携など)	・地域で特産物や伝統野菜を栽培している農家の方と連携し、学校給食に活用したり、学校保健会での情報を基にしながら肥満の改善にむけた指導を行ったりしている。

10 特定非営利活動法人 青森県消費者協会

事業名 ①	地産地消推進事業・県産食材利用推進事業（2回）
第4次食育推進計画への位置付	基本方向1-1
期 日	令和4年4月～令和5年3月
場 所	青森市
活動内容・参加者等	<p>県産品に親しみ、利用拡大するための講演会及び料理講習会の開催</p> <p>○7月26日（土）</p> <p>親子で学ぼう！消費生活「親子でつくる！夏の簡単豚肉料理」 講 師：青森中央短期大学食物栄養学科 特任講師 池田友子氏</p> <p>会 場：県民プラザ 5F 調理実習室 参加者：親子8組（保護者7名、児童8名） ※一般社団法人青森県養豚協会協力</p> <p>○12月3日（土）</p> <p>親子で学ぼう！消費生活「親子で一緒に！クリスマス料理」 講 師：青森中央短期大学食物栄養学科 特任講師 池田友子氏</p> <p>会 場：県民プラザ 5F 調理実習室 参加者：親子8組（保護者9名、児童9名） ※一般社団法人青森県養豚協会協力</p>
事業名 ②	食の安全・安心推進事業（1回）
第4次食育推進計画への位置付け	基本方向2-2、基本方向3-3、配慮すべき事項1
期 日	令和4年4月～令和5年3月
場 所	青森市
活動内容・参加者等	<p>食の安全・安心の推進について専門家を招き、講演会の開催</p> <p>○7月27日（水）</p> <p>令和4年度消費生活大学講座 第3回＜県からの受託事業＞ 「青森の有機農業を考える ～消費者も地域のプレーヤー～」 講 師：(株)アグリーンハート 代表取締役・農音楽家 Takuron（佐藤拓郎）氏</p> <p>会 場：県民福祉プラザ4階 県民ホール 参加者：108名（うち、10名YouTube参加） （一般・高齢者、消費生活大学講座受講申込者）</p>
取組の具体的手法や特徴的なこと （他団体との連携など）	<ul style="list-style-type: none"> 消費生活大学講座では、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、講演後YouTubeで2週間程度の配信を行い、会場に来られない方でも視聴できるようにした。 「親子で学ぼう！消費生活」では、青森県養豚協会からは食材の提供の協力いただいた。

1 1 青森県食生活改善推進員連絡協議会

事業名 ①	おやこの食育教室
第4次食育推進計画への位置付	基本方向1-1、基本方向3-2
期 日	令和4年8月～令和5年1月末まで
場 所	県内12ヶ所
活動内容・参加者等	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染防止対策をしながら、事業を進める。 ・親子で調理体験可能な場合は実施する。 ・訪問活動を中心とする。 ・おやつ(お菓子)などを添えて教材を配布する。 ・年長児から小学生と保護者。(内容が理解できる年齢として、主に小学生を対象)
事業名 ②	男性料理教室
第4次食育推進計画への位置付	基本方向1-5、基本方向2-3、基本方向3-2
期 日	令和4年10月～令和5年1月末まで
場 所	県内4ヶ所
活動内容・参加者等	<ul style="list-style-type: none"> ・“密”をさけて、集める活動から、訪問活動を中心にする。 ・調理体験可能なら、感染防止対策をしながら実施。 ・ヘルシーメニューやお惣菜などを添えて、教材を配布する。 ・成人男性。(男性の社会参加や仲間づくりのきっかけ提供)
事業名 ③	生涯骨太クッキング(生活習慣病とロコモ予防)
第4次食育推進計画への位置付	基本方向1-5、基本方向2-3
期 日	令和4年9月～令和5年1月末まで
場 所	県内8ヶ所
活動内容・参加者等	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染防止対策をしながら、訪問活動を中心とする。 ・お菓子(おやつ)やお惣菜などを添えて、教材を配布する。 ・地域住民、成人から高齢者。(フレイル予防をテーマに、低栄養、ロコモ、認知症予防に取り組む) ・調理体験が可能なら、感染防止対策をしながら実施。
事業名 ④	やさしい在宅介護食教室
第4次食育推進計画への位置付	基本方向1-5
期 日	令和4年9月～令和5年1月末まで
場 所	県内4ヶ所

活動内容・参加者等	<ul style="list-style-type: none"> ・小人数での勉強会。 ・地域住民、食生活改善推進員。(老老介護の世帯増加にともない。家庭でできる介護食の学習)
事業名 ⑤	生活習慣病予防のためのスキルアップ事業
第4次食育推進計画への位置付	基本方向1-3、基本方向1-5、基本方向2-3
期 日	令和4年11月～令和5年1月末まで
場 所	若者世代6ヶ所、働き世代6ヶ所、 高齢世代(シニアカフェ)18ヶ所
活動内容・参加者等	<p>新しい生活様式を踏まえた“講習会”と“家庭訪問”</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調理体験可能なら、感染防止対策をしながら実施。 ・若者世代～お菓子(おやつ)などを添えて教材を配布する。 ・働き世代～ヘルシーメニューやお惣菜を添えて教材を配布する。 ・シニアカフェ～お弁当などを添えて教材を配布する。
事業名 ⑥	乳幼児健診等における“だし活”伝道事業
第4次食育推進計画への位置付	基本方向1-1
期 日	令和4年6月～12月末まで
場 所	全県実施 40市町村×3～4回 140回実施
活動内容・参加者等	<ul style="list-style-type: none"> ・試食提供は中止。 ・できるだしサンプル1家族1つ配布。各市町村の方針に基づき、感染防止対策を徹底して進める。(だしで減塩できることを進める)
事業名 ⑦	かんたん野菜レシピ普及事業
第4次食育推進計画への位置付	基本方向1-1、基本方向1-3
期 日	令和4年7月～令和5年1月末まで
場 所	全県実施 38回実施
活動内容・参加者等	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染防止対策をしながら、野菜簡単レシピと試食提供する。(県民の野菜摂取量の増加を図るため) ・若い世代、働き盛り世代を中心。
取組の具体的手法や特徴的なこと (他団体との連携など)	<ul style="list-style-type: none"> ・“密”をさけるため、“集める活動ではなく、訪問活動”を中心とした活動。 ・検温、手洗い消毒の徹底、マスク着用、会員自身の健康管理の徹底。 ・国や各市町村の方針に基づき、感染防止対策を徹底した上で、活動を進める。

1 2 青森県生活協同組合連合会

事業名 ①	JA 共済きずなの青い森プロジェクト 食育プログラム
第4次食育推進計画への位置付	基本方向1-5、基本方向3-3
期 日	令和4年度10月4日(水)
場 所	平内町山村開発センター
活動内容・参加者等	JA 共済連青森主催「きずなの青い森プロジェクト」(森林プログラム・木工クラフトプログラム・食育プログラム)の、食育プログラムを担当。県産農産物や食品ロスに関するビンゴクイズを実施し、理解を深めた。参加者は農協と生協の組合員・平内町民等25名。 *小学生対象の企画はコロナで中止となった。(協力は4年目)
事業名 ②	取組1 台所から地球を守るアンケート 取組2 食品の安全・安心に関する意識調査
第4次食育推進計画への位置付	基本方向1-5、基本方向3-3、配慮すべき事項1、 配慮すべき事項2
期 日	11月~12月末
場 所	各生協より対象組合員・職員への配布・回収
活動内容・参加者等	【取組1】 買い物行動と環境負荷について、自分の暮らしを見直し気づきのきっかけとするためのアンケートと解説書の配布 参加者：627名 【取組2】 食品の安全・安心に関する意識調査と合わせて、解説編の配布により啓発の機会とする。 参加者 438名
取組の具体的な手法や特徴的なこと (他団体との連携など)	【事業名①】 JA 共済連、森林組合との連携による活動、共済連作成のパンフを活用したクイズ内容にして、パンフ内容の理解を深めた。 【事業名② 取組1】 青森県環境パートナーシップセンター(AEPC)青森中央短期大学、青森県食生活推進委員会と連携(3年目)6・7月に青森中央短期大学の学生による店内での調査活動も実施された。 【事業名② 取組2】 県との連携で、解説編の作成やWEBアンケートなどを実施。 今年度は、WEBアンケート呼びかけチラシを作成し、弘前大学、柴田学園大学、生協店舗等で配布により、75名参加あり。
備 考	その他エシカル消費キャンペーン16店舗、食育DVDの活用

1 3 青森県生活研究グループ連絡協議会

団 体 名	弘前地区生活改善グループ連絡協議会
事 業 名 ①	“津軽の味っこ” 伝承料理講習会（弘前地区連）
第 4 次食育推進計画 への位置付け	基本方向 3-1、基本方向 3-2
期 日	令和 4 年 1 2 月 2 2 日（木）
場 所	弘前市清水交流センター 調理実習室
活動内容・参加者等	<p>【内 容】 郷土料理の調理実習 赤飯、茶碗蒸し、煮なます、油揚げ餅</p> <p>【参加者】 弘前市民 20 名、会員 5 名、南地域県民局地域農林水産部 1 名 計 26 名</p> <p>※平成 2 4 年から開催し、今年で 11 年目（11 回）</p>
取組の具体的手法や 特徴的なこと （他団体との連携など）	<ul style="list-style-type: none"> ・会員が講師となり、調理実習を通して郷土料理を伝承 ・新型コロナウイルス感染症の対策として、換気や衛生管理に留意したほか、実習で作った料理は試食も無しで、全て持ち帰りとした。
団 体 名	つがる市生活改善グループ連絡協議会
事 業 名 ①	第 3 7 回 つがる市くらしの工夫展
第 4 次食育推進計画 への位置付け	基本方向 3-1、基本方向 3-2
期 日	令和 5 年 2 月 1 日（水） *開催見込み
場 所	つがる市生涯学習交流センター 松の館
活動内容・参加者等	<p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・つがる市の農林水産物を使った料理や次世代に伝えたい伝承料理の展示 ・女性団体による農産物や加工品の販売 ほか <p>【参加者】 生活改善グループや女性団体、一般市民 約 200 名</p>
団 体 名	かみきた農と暮らしの研究会
事 業 名 ①	地元の食材を使った調理実習
第 4 次食育推進計画 への位置付け	基本方向 3-1、基本方向 3-2
期 日	令和 4 年 12 月 11 日（日）
場 所	淋代地区生涯学習センター（東北町）
活動内容・参加者等	<p>【内 容】 すいとん粉で作るひつつみ汁、ながいもの中華あえ、鶏肉のタルタルソースがけ、生米蒸しパン ほか</p> <p>【参加者】 一般消費者 16 名</p> <p>【講 師】 東北町特産品販売促進協議会 2 名</p>

事業名 ②	おそなえもち作り
第4次食育推進計画への位置付け	基本方向1-5、基本方向3-1、基本方向3-2
期 日	令和4年12月27日(火)
場 所	一本松公民館(十和田市)
活動内容・参加者等	<p>【内 容】おそなえもちを手作りした。地元産もち米を少し固めにつき、計量と丸める作業を分担して行った。作ったおそなえもちは、地域内の注文販売にも用いた。</p> <p>【参加者】地域住民等 9名</p> <p>【講 師】一本松ひまわり生活研究グループ 2名</p>
取組の具体的手法や特徴的なこと (他団体との連携など)	地元産食材を活用し、地産地消の推進と食文化の伝承を行っている。

1 4 青森県旅館ホテル生活衛生同業組合

事業名 ①	夏期衛生講習会
第4次食育推進計画への位置付	基本方向1-4、基本方向2-2
期 日	令和4年8月18日 14:00~15:30
場 所	ホテル青森 3階「あすなろの間」
活動内容・参加者等	<p>テーマ「夏場の食中毒対策について」</p> <p>講 師 青森県健康福祉部保健衛生課 総括主幹 西村秀太郎 氏</p> <p>参加者 19社・団体 28名</p>
取組の具体的手法や特徴的なこと (他団体との連携など)	<p>青森市旅館ホテル協同組合・青森県調理師会との共催。</p> <p>夏場の食中毒対策として守るべき注意事項と「HACCP」による衛生管理の重要性について研修。</p>

15 全国農業協同組合連合会青森県本部

事業名①	令和4年度やさい作品コンクール
第4次食育推進計画への位置付	基本方向1-2、基本方向3-1
期 日	1 募集期間：7月16日（土）～9月2日（金） 2 審査会：11月4日（金） 3 入賞展示：11月19日（土）～11月20日（日） ※ 表彰式は行なわず、各小学校から入賞者へ授与いただく。
場 所	1 募集期間：青森県農協会館 2 審査会：青森市文化会館 3 入賞展示：サンロード青森 2階 催事ホール
活動内容・参加者等	子供の頃から県産やさいに関する知識を深め、郷土で生産されたやさいに愛着を持ってもらうことを目的として、県内の小学生を対象に開催した。 応募点数：図画454点・習字（半紙）4,011点 習字（条幅）177点 合計4,642点 入賞点数：図画39点・習字（半紙）39点・習字（条幅）39点 合計117点
取組の具体的手法や特徴的なこと (他団体との連携など)	・青森市教育委員会の図画工作科部会・国語部会から推薦いただいた審査員に、審査を委嘱している。 ・継続開催することで本コンクールへの目的や意義が各校や家庭、地域に浸透していることやコロナ禍で生活様式が大きく変わり落ち着かい状況の中でも作品づくりに意欲をもち一生懸命に取り組んで頂けたとの講評をいただいている。

16 一般社団法人青森県りんご対策協議会

事業名 ①	青森りんごキッズ向けサイト（「青森りんご for キッズ」）
第4次食育推進計画への位置付け	基本方向1-2、配慮すべき事項1
期 日	通年
活動内容・参加者等	現代の生活様式（幼少期からITが身近にある環境）や授業形態の変化（小学校低学年からのタブレット端末活用やネット検索による学び）に対応するため、青森りんご食育総合サイト「青森りんご for キッズ」を昨年度開設。情報更新を随時行っている。
事業名 ②	学童用学習資材作製
第4次食育推進計画への位置付け	基本方向1-2
期 日	通年
活動内容・参加者等	青森県産りんごの品種や栽培方法について記載した下敷きを作製。青森県りんご果樹課主催の出前授業などを通じて県内の小学生等に提供。
取組の具体的手法や特徴的なこと （他団体との連携など）	その他、県外での主な活動として、全国の栄養系大学と連携し、栄養教諭や管理栄養士を目指す学生を対象とした「青森りんご次世代オピニオンリーダー育成事業」（りんごと学習冊子を提供し、授業やゼミ活動で活用）を毎年実施。

17 公益財団法人 青森県りんご協会

事業名①	りんご食育授業
第4次食育推進計画への位置付け	基本方向1-2
期日	令和5年2月10日
場所	大阪府豊中市市立小内小学校
活動内容・参加者等	・試食を含む食育及び県産りんごPR ・大果大阪青果、県大阪情報センター協力の元、実施予定

18 青森県漁業協同組合連合会

<p>第4次食育推進計画への位置付け</p>	<p>活動1 基本方向2-2 活動2 基本方向1-2、 活動3 基本方向1-2、基本方向3-2 活動4 基本方向3-1、配慮すべき事項1 活動5 基本方向2-2 活動6 基本方向1-4、基本方向3-1、基本方向3-2</p>
<p>活動内容・参加者等</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 青森県産水産物の品質、衛生管理面の向上に努めることで、消費者との信頼関係の構築に努めました。 2 青森県ほたて流通振興協会との共催により、県内小学校等（4ヶ所）で出前授業を実施することによって、県産ほたての長期的な食育推進を図りました。 3 食育の重要性を認識し、地場産品を活用した食育推進及び学校給食に対する児童生徒の関心を高めるための学校給食レシピコンテストに協賛し、魚食普及の推進を図りました。 4 SNSを活用した積極的な情報発信や、関係機関※₁と連携し、早朝に水揚げされたホタテを空輸によってその日のうちに関西圏で販売する試みを実施し、新規販路開拓に努めました。 また、JF全漁連が運営する産直通販サイト「JFおさかなマルシェギョギョいち」にて、本県自慢の水産物を各種出品することで、本県水産物の消費拡大に努めました。 5 環境や資源にやさしい漁業と青森ホタテのブランド確立を目的として申請し2022年11月にMEL(マリンエコラベル)認証※₂を取得。 すでに同地区の加工業者数社も同認証を取得しており、今回の認証取得によって、生産から加工・流通、消費までのサプライチェーンが完成しました。 6 漁業者自ら漁獲した水産物を量販店において販売する「あおもりの肴フェア」を定期的開催し、本県水産物の知名度向上や魚食推進に取り組みました。
<p>取組の具体的手法や特徴的なこと (他団体との連携など)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・※₁関西圏で量販店を展開する光洋と、日本航空子会社のジェイエアとの連携による取組み、早朝に水揚げしたホタテが昼過ぎには関西圏の店頭並び、消費者の手元に渡った。 ・※₂陸奥湾においてホタテを生産する10漁協(外ヶ浜、蓬田村、後潟、青森市、平内町、野辺地町、横浜町、むつ市、川内町、脇野沢村)所属の漁業者約900名が参加。 ・今後も続くコロナウイルスの脅威に立ち向かうべく、漁業界全体が失った販売先や魚価の回復を図ることで、本県が誇る豊かな水産資源を安定供給し、新たな世代へ魚食文化をつなぐ取組を行った。

19 青森県商工会連合会

第4次食育推進計画への位置付け	基本方向1-2、基本方向3-2
活動内容・参加者等	<ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度から令和3年度にかけて「だし活」をテーマに郷土料理や減塩だし、減塩レシピを考案した。 ・令和4年度は、県内7ブロックそれぞれの地域のイベントでだし活レシピを紹介したチラシの配布や、地元小学生を対象にだし活レシピを基に実際に調理する料理教室を開催するなど、女性部で考案しだし活レシピのPR活動を展開した。
備 考	<p>今後は考案しだし活レシピの商品化に向けた取り組みを検討している。</p>

20 株式会社マエダ

事業名 ①	むつ市のうまいは日本一
第4次食育推進計画への位置付け	基本方向3-1
期 日	令和4年8月、11月
場 所	マエダ本店、ガーラモール店
活動内容・参加者等	むつ市、下北の特産品の販売
事業名 ②	「青森県産品フェア」の実施
第4次食育推進計画への位置付け	基本方向3-1
期 日	月1回 第1週又は第2週の週末
場 所	マエダストア 全店
活動内容・参加者等	<ul style="list-style-type: none"> ・チラシにて青森県産品の特集を組み販売。 ・青果・水産・食肉の生鮮品以外にも地元工場で生産されたもの、地元メーカーのフェアを実施。
事業名 ③	地場商品コーナーの展開
第4次食育推進計画への位置付け	基本方向3-1
期 日	通年
場 所	マエダストア 全店
活動内容・参加者等	<ul style="list-style-type: none"> ・「地産地消」を目的に地場野菜や加工品を販売。 ・全店に販売コーナーを常設し、店舗近くの農家さん等から仕入販売。

2 1 紅屋商事株式会社

事業名 ①	紅屋の食育
第4次食育推進計画への位置付け	基本方向1-1、基本方向1-2、基本方向1-4、基本方向3-1、基本方向3-2、基本方向3-3、配慮すべき事項2
期 日	年10回(8月、12月を除く月一回開催)
場 所	カブセンター、ベニーマート 計11店舗
活動内容・参加者等	食育ピクトグラムより、毎月の食育テーマを選定し、情報提供、バランスの良い献立提案、試食提供を実施。毎回、減塩・野菜摂取の推奨。県産食材、加工品も献立に活用し、店内・広告等で紹介。
取組の具体的な手法や特徴的なこと(他団体との連携など)	食品メーカーより、減塩しょう油の試供品の協力有り。
備 考	令和5年度も実施予定。
事業名 ②	食育通信 ベニーズキッチン
第4次食育推進計画への位置付け	基本方向1-1、基本方向1-2、基本方向1-4、基本方向3-1、基本方向3-2、基本方向3-3、配慮すべき事項2
期 日	年6回発行(2ヵ月に一回発行)
場 所	カブセンター、ベニーマート 計11店舗
活動内容・参加者等	事業名①の取組み内容を店内配布ポイントカタログ「ベニークラブ」に掲載。食育情報シートや活動写真を掲載。
備 考	令和5年度も実施予定。
事業名 ③	こども食育新聞
第4次食育推進計画への位置付け	基本方向1-1、基本方向1-2、基本方向1-4、基本方向3-1、基本方向3-2、基本方向3-3、配慮すべき事項2
期 日	年12回
場 所	カブセンター、ベニーマート 計11店舗
活動内容・参加者等	毎月食育テーマを選定し、月一回発行。店内配布。
取組の具体的な手法や特徴的なこと(他団体との連携など)	子供でも読みやすいように、漢字にはルビを振っている。簡単なクイズやゲームを掲載している。
備 考	令和5年度も実施予定。
事業名 ④	だし活推進
第4次食育推進計画への位置付け	基本方向2-1、基本方向3-1
期 日	年10回
場 所	カブセンター、ベニーマート 計11店舗
活動内容・参加者等	できるだしを使用したレシピ作成、試食提供を実施。巡店開催の他、10月22日は、事業名①の活動内で11店舗同時実施。
取組の具体的な手法や特徴的なこと(他団体との連携など)	青森県農林水産部、県内メーカー他、だし活協議会の協力のもと実施。
備 考	令和5年度も実施予定。

2 2 公益社団法人青森県栄養士会

事業名 ①	「無料栄養相談」あおもり栄養ケア・ステーション 1
第4次食育推進計画への位置付け	基本方向1-1、基本方向1-5、基本方向2-1、配慮すべき事項1
期 日	令和4年度
場 所	栄養士会事務所
活動内容・参加者等	県民を対象に、無料で栄養相談や食育相談を実施 HP 随時
事業名 ②	「サンロード青森健康促進デー」あおもり栄養ケア・ステーション 2
第4次食育推進計画への位置付け	基本方向1-1、基本方向1-5、基本方向2-1、基本方向3-1
期 日	令和4年10月22日(土)～23日(日)
場 所	サンロード青森
活動内容・参加者等	減塩のぼり、減塩タペストリーの掲示、減塩チラシ ヘルシーダイアリーの配布、栄養相談 参加者50名
事業名 ③	減塩プロジェクト事業 1 (八戸市健康パネル展)
第4次食育推進計画への位置付け	基本方向1-1、基本方向1-3、基本方向2-1
期 日	令和4年10月15日(土)～19日(水)
場 所	八戸市ポータブルミュージアムはっち
活動内容・参加者等	減塩タペストリー、減塩パンフレット、減塩レシピ 新型コロナウイルス感染予防の栄養のリーフレットの展示をした。 【参加者】 728名
事業名 ④	「アスリートプログラム」あおもり栄養ケア・ステーション3
第4次食育推進計画への位置付け	基本方向1-2、基本方向1-5
期 日	令和4年度
場 所	マエダアリーナ(青森市)
活動内容・参加者等	中・高校・一般のスポーツ選手を対象に食事栄養診断と栄養相談 種目は自転車、バドミントン、ボート、スキー、スピードスケート等 計25回
取組の具体的手法や特徴的なこと (他団体との連携など)	青森県スポーツ科学センターとの委託事業

2 3 社会福祉法人青森県社会福祉協議会

事業名 ①	子ども福祉体験スクール 2022（地域における福祉学習実践事業）
第4次食育推進計画への位置付け	基本方向 2-3
期 日	令和4年8月3日
場 所	七戸町総合福祉センター ゆうずらんど
活動内容・参加者等	七戸町社協が、小学生を対象に災害時の備えや避難等について学習する「子ども福祉体験スクール」を開催。 【対 象】 町内小学校 5~6年生 【参加者】 12名
取組の具体的手法や特徴的なこと (他団体との連携など)	「非常食を美味しく楽しく調理して食べてみよう！」と題し、災害時における非常食の種類と調理方法を福祉体験として学んだ。 県社協は、当該事業費の助成と企画・運営支援を行っている。
事業名 ②	こども宅食おすそわけ便
第4次食育推進計画への位置付け	基本方向 1-1
期 日	奇数月：青森・三沢、偶数月：八戸、五所川原
場 所	県内4地域 青森・八戸・三沢・五所川原
活動内容・参加者等	コロナ禍で特に社会的に孤立しがちな子育て家庭を支援するため、青森県で初めてとなる「こども宅食」を開始。県社協が指定する県内各地域の「こども宅食」は「こども宅食おすそわけ便」と名乗って活動している。
取組の具体的手法や特徴的なこと (他団体との連携など)	定期的に食品等を届け、社会的に孤立しがちな子育て家庭とつながりをつくることにより、必要な支援に結びつけ、小さな変化にも気づきやすい関係性を築くことを目的としている。 【食品無償提供】 コープあおもり、県民生協、榊北日本吉野家、LAPANADERIA aomori、階上キューピー(株)、みちのくコココーラ等
事業名 ③	食でつながるフェスタ in あおもり ~あおもりフードバンク設立セミナー~
第4次食育推進計画への位置付け	基本方向 3-3、配慮すべき事項 2
期 日	令和5年2月3日(金)
場 所	アピオあおもり 2階「イベントホール」他

<p>活動内容・参加者等</p>	<p>【内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 説明「あおもりフードバンクの設立について」 社会貢献活動推進室 2 講演「食でつながる地域づくり」 キューピーみらいたまご財団 3 取組発表「食を通じた支援活動」 4 実践報告「食を通じた多様な取り組み」 <p>【対象】</p> <p>食を通じた居場所を運営している人、行政、企業、社会福祉法人・NPO 法人の役職員、食を通じた活動に興味がある人</p>
<p>取組の具体的手法や特徴的なこと (他団体との連携など)</p>	<p>食支援活動を行う団体・個人が情報やノウハウを共有し、必要な人にスムーズに食品等が届くためのネットワークを広げ、食支援活動が広がることを目的に開催。</p> <p>【共催】「食でつながるフェスタ in あおもり」実行委員会、全国食支援活動協力会</p> <p>【後援】厚生労働省、内閣府、農林水産省、全国社会福祉協議会、「広がれ、こども食堂の輪！推進会議」</p>

2 4 一般社団法人青森県保育連合会

事業名 ①	令和4年度給食・食育研修会
第4次食育推進計画への位置付け	基本方向1-1、基本方向1-2、配慮すべき事項1
期 日	令和4年11月9日
場 所	ホテル青森
活動内容・参加者等	<p>1 「第4次食育基本計画を受けて」 ～食育をめぐる状況を踏まえた食育の推進を考える～ 講師：青森県立保健大学 健康科学部 栄養学科 教授 鹿内彩子 氏</p> <p>2 「食育から子育て家庭を支援する取り組みとは」 ～保育施設の特性を生かし、子どもの育ちをサポートする～ 講師：聖徳大学 児童学部 児童学科 兼任講師 室田洋子 氏</p> <p>【参加者】会員施設、給食関係者及び保育関係者 157名</p>
備 考	子どもの「食」の視点から豊かな人間性を育み、子どもに与える栄養の意義や発育期の栄養の特性を総合的に理解することを目的に開催

2 5 国立大学法人弘前大学農学生命科学部

事業名 ①	公開講座「リンゴを科学する」
第4次食育推進計画への位置付け	基本方向3-1, 基本方向3-3, 配慮すべき事項2
期 日	令和5年1月9日(月・祝)
場 所	藤崎町文化センター (藤崎町大字西豊田1丁目1)
活動内容・参加者等	1 リンゴ輸出先の拡大に関する考察 2 SDGsとりんご産業の貢献 3 我が国のリンゴ栽培と農水省の「みどりの食料システム戦略」 4 リンゴの多様性を知ろう
取組の具体的手法や特徴的なこと (他団体との連携など)	公開講座「リンゴを科学する」は藤崎町との共催で実施した。
備 考	来年度も実施予定。

26 学校法人青森田中学園 青森中央短期大学

事業名 ①	青森中央短期大学 食育講座・出前講座
第4次食育推進計画への位置付け	基本方向1-2、基本方向1-5、基本方向3-2
期 日	令和4年7月～令和5年1月
場 所	県内の保育施設、公共施設等
活動内容・参加者等	<p>本学食物栄養学科教員の専門性を活かしたテーマを設定し、依頼元の対象者、目的、ニーズに応えながら、食に関わる多様な内容の講義や実習を実施した。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、一部オンラインで実施した。</p> <p>【食育講座】</p> <p>保育施設の依頼で3件実施。園児を対象に「正しい手洗い」「たべもの」の講義を、給食担当者を対象に「減塩と郷土食の献立づくり」の講義を行った。</p> <p>【食に関する出前講座】</p> <p>市民を対象に2件、中学生を対象に1件実施。対象者の課題に合わせて、健康な生活を送るための食生活の工夫や注意点に関する講義を実施した。</p>
事業名 ②	青森中央短期大学公開講座「親子でつくってみよう！身近なもので もしもの時のクッキング」
第4次食育推進計画への位置付け	基本方向1-1、基本方向1-5、配慮すべき事項2
期 日	令和4年7月23日（土）
場 所	青森中央短期大学
活動内容・参加者等	<p>災害などの非常時でも身近な材料で簡単に作れる料理を、小学生以上の児童とその保護者を対象に、親子で一緒に学ぶ調理教室を実施した。</p>
事業名 ③	産官学連携・地産地消弁当の共同開発
第4次食育推進計画への位置付け	基本方向1-4、基本方向1-5
期 日	令和4年9月
場 所	青森県内
活動内容・参加者等	<p>青森県産品を使用した郷土料理をふんだんに盛り込み、減塩の工夫を施した地産地消弁当「青森中央短期大学監修 中短のちゅっぴいおすすめ！ 彩りもりもり弁当」を、本学食物栄養学科の学生が株式会社イトーヨーカ堂、青森県と連携して開発・販売した。</p>
事業名 ④	高齢者施設における手作りおやつの提供
第4次食育推進計画への位置付け	基本方向1-4、基本方向1-5
期 日	令和4年9月13日（火）・14日（水）

場 所	社会福祉法人中央福祉会特別養護老人ホーム三思園
活動内容・参加者等	咀嚼や嚥下の力が低下した高齢者が「口から食べる喜び」を感じられるように、食べやすく栄養価の高い手作りおやつを、食物栄養学科の学生が主となり考案・調理し、高齢者施設入所者に提供した。
事業名 ⑤	大豆の栽培、味噌作りと調理
第4次食育推進計画への位置付け	基本方向3-2
期 日	令和4年5月～令和5年1月
場 所	青森中央短期大学
活動内容・参加者等	園児及び外国出身留学生を対象に、大豆の栽培から、収穫、その大豆を使った味噌の仕込み、そして、その味噌を使った郷土料理の調理までを体験する体系的なプログラムを実施した。味噌が大豆から作られることや、大豆の育ち、栄養、食べ物のありがたさや自然の循環について、世代や国籍を越えて一緒に楽しみながら学んだ。 大豆の植え付け・栽培・収穫：令和4年5月～10月 味噌作り：令和4年12月実施 味噌を使った調理実習：令和5年1月実施
事業名 ⑥	保育施設での親子を対象とした調理教室
第4次食育推進計画への位置付け	基本方向1-1、基本方向1-2、基本方向1-5
期 日	令和5年2月18日（土）
場 所	認定こども園青森中央短期大学附属第二幼稚園
活動内容・参加者等	保育施設に通う園児とその保護者を対象に、親子が一緒に楽しみながら調理することで、食材や料理、食べることへの興味を喚起するとともに、異なる世代間で食の楽しみを共有できる食育調理教室を実施した。
事業名 ⑦	親子おさかなクッキング（「さかな丸ごと食育」サポーター学習会）
第4次食育推進計画への位置付け	基本方向1-1、基本方向1-2、基本方向3-1、基本方向3-2、基本方向3-3、配慮すべき事項2
期 日	令和4年6月12日（日）、7月10日（日）、8月21日（日）、9月4日（日）、9月25日（日） 全5回
場 所	青森中央短期大学
活動内容・参加者等	さかなの生態、生産や流通、食事づくりや食べること、生活・環境などについて、園児とその保護者を対象に学習会を実施した。 「さかな丸ごと食育」養成講師である本学教員が、専門の教材「さかな丸ごと探検ノート」等を活用して講義を行った後、イカやマグロなど青森県の新鮮な魚介類を使って親子で調理し、魚の扱い方や食べ方を学んだ。

事業名 ⑧	「さかな丸ごと食育」養成講師研修会
第4次食育推進計画への位置付け	基本方向1-5、基本方向3-1、基本方向3-2、 基本方向3-3、配慮すべき事項2
期 日	令和4年11月23日（水・祝）
場 所	青森中央短期大学
活動内容・参加者等	<p>一般財団法人東京水産振興会とNPO法人食生態学実践フォーラムが実践する、日本の豊かな魚食文化の継承と普及を目的とした、魚の生産から食卓までを視野に入れた食教育「さかな丸ごと食育」を計画、実施、評価できる人材を養成するための研修会を開催した。</p> <p>あおもり食育サポーターや栄養士、学生など食に関心を持つ方が受講した。</p>
取組の具体的手法や特徴的なこと （他団体との連携など）	<p>青森中央短期大学は、栄養学や健康教育を専門とする食物栄養学科を擁し、栄養に関わる専門職業人の育成・教育や研究活動を行っている。</p> <p>特に、「ヘルスコミュニケーションを用いた食育活動の展開～青森を健康長寿県とする食育拠点づくり～」をテーマに、青森県の豊かな食材と食文化を全ての世代間で楽しみながら継承するための食育活動展開事業や、地域の食育活動実践者の育成・支援事業など、青森県民の健康寿命の延伸と健康行動の変容を目指して、さまざまな世代・職種を対象とした独自の取組を実施している。</p> <p>また、青森県委託事業「あおもり食育サポーター事務局」や、「あおもり食育検定委員会事務局」として、地域の市民や諸機関と連携、協力しながら青森県の食育活性化事業を実施、支援している。</p>

27 株式会社東奥日報社

事業名①	「うまい森 青いもり」フェア
第4次食育推進計画への位置付け	基本方向3-1、基本方向3-2
期 日	通年
場 所	青森市、弘前市、八戸市
活動内容・参加者等	県内の市町村が誇る「魅力的な食文化」を新聞紙面で広く紹介するとともに、物販イベントで生産者・団体と消費者を結ぶ。2016年度に始まり7年目。本年は新型コロナの感染予防に配慮しつつ、青森市（アスパム）、弘前市（さくら野）、八戸市（館鼻岸壁朝市）で開催した。本年のテーマは「短命県返上！地産地消！ 食べて健康。買って応援」。
取組の具体的手法や特徴的なこと （他団体との連携など）	県内の地域活性化アイドルグループによる食のレポートを通年で紙面に掲載しているほか、SNSでも発信してもらっている。また、県内の農業高校生徒と提携した新メニュー開発などで、若い世代にも県産品愛用・活用を呼び掛けている。
備 考	このフェアとは別に、通常の報道の中でも、県内各地の食育の取り組みを積極的に紹介するようにしている。

28 青森県土地改良事業団体連合会（あおり水土里ネット女性の会）

事業名 ①	地域での食育の推進事業における「農業体験会」(たまねぎの定植)
第4次食育推進計画への位置付け	基本方向1-5、基本方向3-1
期 日	令和4年10月27日
場 所	青森市 奥内地区ほ場
活動内容・参加者等	<p>たまねぎ生産組合が保有しているほ場において、たまねぎの補植作業を実施した。農業体験を通して、自然の恵みや食の大切さを感じ、また、農業体験を通して、地域の農産物に対する愛着を深め、幅広い世代を対象に開催した。</p> <p>【参加者】会員、たまねぎ生産組合組合員、外一般参加者等 27名</p>
事業名 ②	たまねぎを使用した料理レシピコンテスト及び審査会、表彰式
第4次食育推進計画への位置付け	基本方向1-5
期 日	令和4年9月12日～9月30日
場 所	青森県土地改良会館 2階役員会議室
取組の具体的手法や特徴的なこと (他団体との連携など)	上記期間において募集した作品を事務局が事前に選定した、7作品の料理を試食し、上位3作品を決定し、後日、女性の会が主催するセミナーにおいて、表彰式を実施した。応募総数18作品
取組の具体的	たまねぎ生産組合と連携

29 あおもり食育検定委員会

事業名 ①	2022 年度あおもり食育検定
第 4 次食育推進計画への位置付け	基本方向 1 - 5
期 日	2022 年 11 月 13 日 (日)
場 所	<p>【主会場】 青森中央短期大学 (青森市)、弘前学院大学 (弘前市)、八戸学院大学 (八戸市)、むつ下北観光物産館 (むつ市)</p> <p>【団体会場】 青森県立青森南高等学校 (青森市)、青森県立弘前実業高等学校 (弘前市)、青森県立八戸西高等学校 (八戸市)、弘果 弘前中央青果株式会社 (弘前市)</p>
活動内容・参加者等	<p>内 容：県内 4 会場 (主会場) 及び 4 団体会場 (準会場) において、あおもり食育検定を実施した。</p> <p>参加者：申込 202 名、受検 173 名、合格 138 名</p>
事業名 ②	2022 年度あおもり食育検定オンライン解説講座
第 4 次食育推進計画への位置付け	基本方向 1 - 5
期 日	2022 年 10 月 27 日 (木)、10 月 28 日 (金)、11 月 1 日 (火)、11 月 11 日 (金)
場 所	オンライン (Zoom)
活動内容・参加者等	<p>内 容：検定受検申込者を対象に、あおもり食育検定公式テキスト 2022 に基づいた、青森県の食育に関する理解度向上を目指す講座を実施した。</p> <p>参加者：計 78 名</p>
取組の具体的手法や特徴的なこと (他団体との連携など)	<p>受検申込者には、検定テキストを無料で配布している。</p> <p>更に、検定合格者への認定証発行及び「あおもり食育サポーター」への登録資格を付与している。</p>

30 株式会社ユニバーズ

事業名 ①	「第11回 ご当地！絶品うまいもん甲子園」
第4次食育推進計画への位置付け	基本方向1-2、基本方向3-1
期 日	令和4年8月16日
場 所	北海道・東北エリア選抜大会 仙台会場 弘前実業高校
活動内容・参加者等	地元食材を生かしたアイデア料理の高校日本一を競う「うまいもん甲子園」 弘前実業高校が北海道・東北エリア大会まで進みましたが、惜しくも決勝に進めませんでした。敗者復活戦のためにポスターを作成し、弘前市内の店舗で掲示して応援致しました。（食材費として商品券を協賛）
事業名 ②	こどもが作る 調理イベント
第4次食育推進計画への位置付け	基本方向1-2、基本方向3-1
期 日	令和4年4月27日、5月27日
場 所	根城こども園
活動内容・参加者等	4月27日は「いちごパフェ」を作り、5月27日は「サンドイッチ」を作りました。調理後はみんなで試食です。（食材費を協賛）
事業名 ③	県産品フェア「あおもりってうまい！」開催
第4次食育推進計画への位置付け	基本方向3-1
期 日	令和4年9月27日～29日、10月15日・16日（むつ市のうまいは日本一）
場 所	BH湊店、パワーズU十和田店除く全店
活動内容・参加者等	チラシ広告で県産品フェアを開催 地場の美味しい食材、特産品をPRし、地産地消を啓蒙
事業名 ④	「減塩」商品のPR
第4次食育推進計画への位置付け	基本方向1-4、基本方向3-1
期 日	令和4年9月16日～19日
場 所	BH湊店、パワーズU十和田店除く全店
活動内容・参加者等	チラシ広告で「健康が一番だから」と減塩商品を掲載し、毎日の食事の減塩推奨を実施
事業名 ⑤	減塩、県産品をテーマにした惣菜をPR
第4次食育推進計画への位置付け	基本方向1-4、基本方向3-1
期 日	令和5年1月13日～16日

場 所	BH湊店、パワーズU十和田店除く全店
活動内容・参加者等	<p>「お弁当・お惣菜大賞 2023」で減塩、県産品をテーマにした惣菜が賞を受賞しました。チラシ広告でPR（「青森うまいもの三味ピザ」「青森県産牛乳で仕込んだ、津軽ふじりんごケーキ」「これぞ青森晩酌セット」「美味しく減塩、おだしで食べるにぎり寿司」）</p>